

船舶事故等調査報告書

平成21年4月23日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009神第23号	
事故等名	漁船大和丸モーターボート岡良丸衝突	
発生年月日時刻	平成20年12月30日(火)21時00分ごろ	
発生場所	徳島県富岡港防砂堤灯台から真方位311° 2,800m(那賀川河口付近)	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年2月17日 神戸・地方事故調査官が、両船船長から口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数	A 漁船 大和丸 0.6トン	
船舶番号	TO3-19604	
船舶所有者等	個人所有	
船種・船名・総トン数	B モーターボート 岡良丸 長さ5.1m	
船舶番号	280-10506	
船舶所有者等	個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長 一級小型船舶操縦士 B 船長 二級小型船舶操縦士	
負傷者	A なし B 1人(B船長;肋骨1本にひび)	
損傷	A 船首部外板擦過傷 B 右舷後部外板割損	
事故等の経過	徳島県那賀川河口付近の同河川内において、A船はしらすうなぎ漁を終えて帰航のため、那賀川大橋に向け同川の左岸寄りを上航中、B船は、同川の中洲にいる知人と連絡をとりながら、中洲北西端近くの川面で船首を北方に向けて漂泊中、平成20年12月30日21時00分ごろ、A船船首部とB船右舷後部とが衝突した。	
分析	<p>気象・海象の関与</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>あり(B船全周灯の不調)</p> <p>A船は、操舵目標としていた那賀川大橋の照明に紛れたB船の灯火を視認できなかった可能性があると考えられる。</p> <p>B船は、全周灯が不調で、周囲から視認しにくい懐中電灯を代わりにつけていたこと、及び携帯電話で知人と連絡をとることに熱中し、A船の接近に気付かなかった可能性があると考えられる。</p>

原因	本事故は、夜間、A船が那賀川を上航中、B船が漂流中、A船がB船の存在に気付かないまま進行し、またB船が、A船の接近に気付かないまま漂流を続けたため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。
その他の事項	なし